

これまでの検討会議における検討状況

目的

本県の子どもたちが、変化し続ける社会に対応するために必要となる力を身に付け、未来を切り拓き、豊かな人生を送るとともに持続可能な社会の創り手として成長

これからの本県県立高等学校教育に求めること・魅力づくりに必要なこと

課題

VUCA（予測困難・あいまい等）の時代

少子化の加速

デジタル技術の進展・普及

検討に当たっての視点

- ・将来構想という観点での「魅力」の創造
- ・多くの関係者を巻き込んだ学校教育
- ・「これからの時代に求められる力」と、その力を生かした地域活性化の方向性の明確化
- ・「これからの時代に求められる力」が確実に育成される「芯や真」のある教育改革
- ・これまでの常識にとらわれない、生徒一人一人の個性に応じた教育の質を高める「魅力」

（本県として重視する視点）

- ・本県の子どもたちのためという思い
- ・求められる教育が変化している中、本県が対応すべきテーマの検討
- ・青森で育ち教育を受けたことに誇りを持ち、良かったと感じられる魅力ある高校づくり
- ・夢のかたちを子どもたちとともに暫定的に可視化できるようなビジョンの設定

求められる人財

- 青森への理解を深め魅力等を発信し、地域の発展に貢献できる人財
- 多様なイノベーションを創出する志を持ち、社会を牽引できる人財
- 職業の多様化に対応できる人財

- ・地域で活躍できる人財
- ・ITやデジタルトランスフォーメーションに対応できる人財
- ・新しい価値の創造に向けたイノベーション人財
- ・一次産業を担う人財
- ・社会における即戦力となる人財

育成すべき資質・能力

■共通して育成すべき力

- ・知、徳、体の調和のとれた「生きる力」
- ・自分で考え行動できる資質と能力
- ・主体的に社会を切り拓いていくことのできる力
- ・地域愛
- ・コミュニケーション能力
- ・「自分が好きになる」自己肯定感
- ・学び続ける態度や意欲

■夢や志に応じて育成すべき資質・能力

- ・地域課題を発見し解決する力
- ・AIやロボット等（生産性向上）への対応力
- ・デジタル活用能力
- ・世界へ打って出るなど高い志
- ・新しい技術を有効活用するための基礎的、基本的な力
- ・柔軟性、対応力、新たなものを創り出す力

求められる人財育成に向けた高校教育の方向性

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実
- ・多様な背景を有する生徒の増加への対応
- ・学びたい場所で学びたいことを学べる環境づくり
- ・地域関係団体による教育活動の現状を踏まえた高校教育
- ・地域人財を活用し、大人と関わりながら様々な体験を通じた「キャリア教育」の充実
- ・これからの時代に求められる力を育むカリキュラムと人財育成プログラムを早期に生徒等へ周知し、適正な進路指導を推進

（体制の充実）

- ・みんなで一つのビジョンを創造し、地域一丸となった教育改革を推進
- ・大学、地域、小中学校等と一体となった縦断的な対応
- ・学校と学科の充実や高校の魅力づくりと教員の働き方改革との一体的推進
- ・個人と社会のウェルビーイング実現を目指した高校教育

学校・学科の充実の方向性
（第1分科会）

学校配置の方向性
（第2分科会）

「学校・学科の充実」と「学校配置」の方向性を踏まえ、生徒の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための「魅力ある県立高等学校」の在り方として整理

□ 検討会議（第1回・第2回）で委員より意見があったもの